

令和4年度

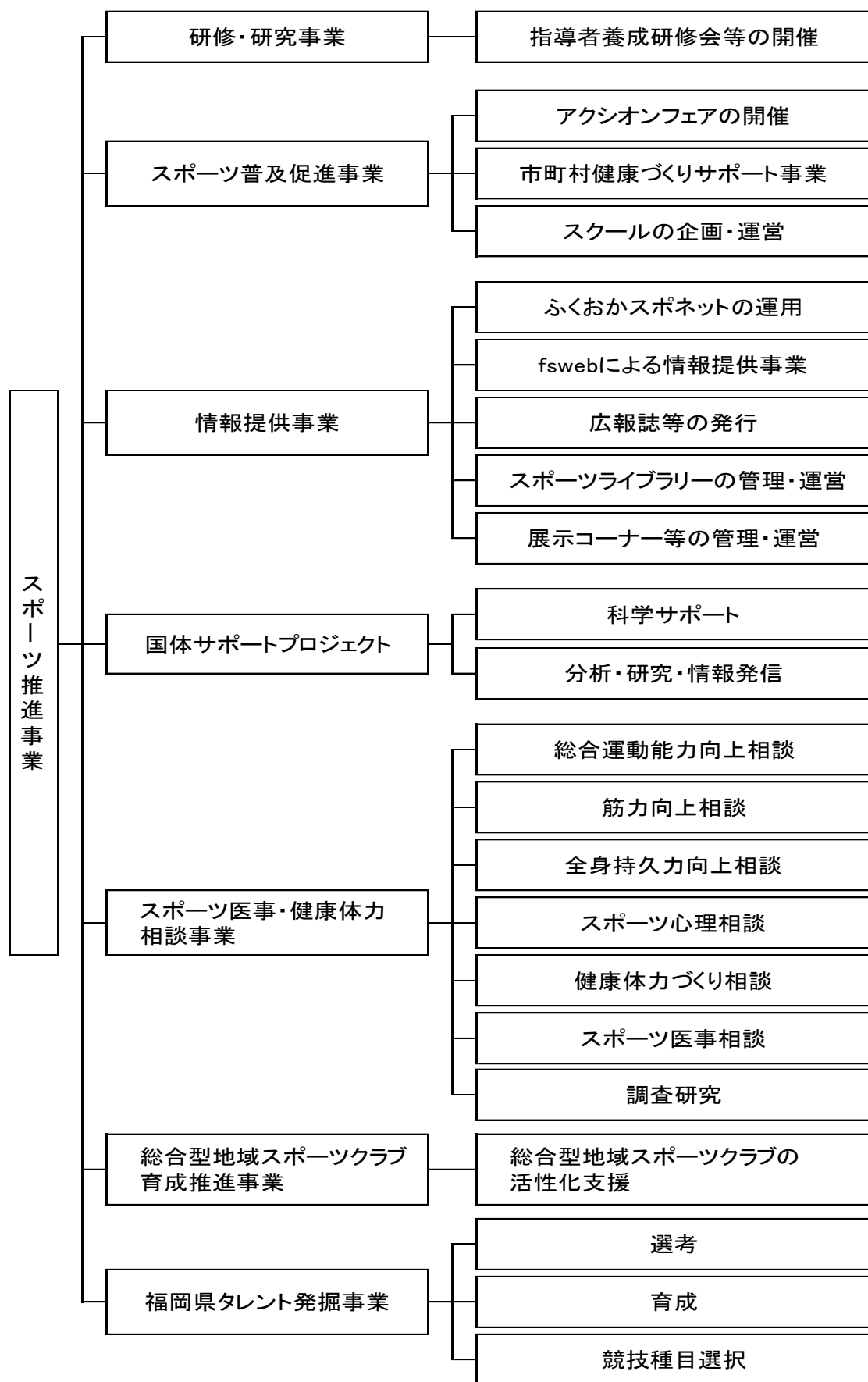
公益財団法人 福岡県スポーツ振興センター

福岡県競技力向上事業用説明会資料



Fukuoka prefectural sports science information center

スポーツ推進課事業構成



1 公益財団法人福岡県スポーツ振興センター主催・共催研修会

開催 期日	研修会名	受講 者数	実 施 内 容	講 師 名	主な参加対象
4/22 (金)	市町村スポーツ関係者研修会	150	【所管事業説明】 ・スポーツ振興課 ・体育スポーツ健康課 ・(公財)福岡県スポーツ振興センター ・(公財)福岡県体育協会 ・NPO法人福岡県レクリエーション協会 【プロスポーツ団体事業説明】		・各市町村・市町村教育委員会 スポーツ担当者 ・県内スポーツ推進委員 ・総合型地域スポーツクラブマネ ジャー及び関係者
6/12 (日)	体力づくり運動指導者研修会	150	「新しい時代にふさわしいスポーツの指 導方法 ～アスリート・センダート・コーチ ング～ コーチ育成者が変わればコーチは変わる	日本体育大学 教授 伊藤 雅充 氏	・各市町村生涯スポーツ関係者 ・スポーツ・社会教育施設関係者 ・スポーツ推進委員 ・総合型地域スポーツクラブ関係 者(代表者及び指導者) ・スポーツ指導者を目指す者 ・未就学児運動指導に携わる者
6/19 (日)	福岡県スポーツ指導者研修会 福岡県スポーツリーダーバンク 登録指導者研修会	120	調整中	調整中	・(公財)日本スポーツ協会公認 スポーツ指導者 ・福岡県スポーツリーダーバンク 登録指導者 ・スポーツ指導者を目指す者
10/20 (木)	トレーニング指導者研修会	100	「育て上手のコーチング ～見つける・伸 ばす・活かす～」 実技 「現代サッカーのコーチング方法」～運動 性と同時性～	福岡大学 教授 乾 真寛 氏	・生涯スポーツに関わる指導者 ・トレーニング指導者を目指す者 ・各市町村生涯スポーツ関係者 ・スポーツ施設及び社会教育施 設関係者 ・教職員
11/17 (木)	選手強化指導者研修会	80	調整中	調整中	・各競技団体の選手強化委員長 又はそれに準ずる者 ・高体連各競技専門委員長 ・高野連委員長 ・中体連各競技専門部長
1/14 (土)	選手強化研修会	50	調整中	調整中	・選手強化推進実行委員会が指 定する強化指定選手等
1/20 (金)	スポーツ医・科学専門講座	50	「コンディショニング ～ケガを防止し、パ フォーマンスを高めるには～」	日本体育大学 准教授 河野 徳良 氏	・福岡県選手強化推進事業強化 指定指導者 ・福岡県スポーツ協会加盟団体 ・高等学校、高等専門学校運動 部活動指導者 ・大学・大学院等、県内研究機関 関係者 ・総合型地域スポーツクラブ 関係者 ・福岡県スポーツ推進委員

2 市町村健康づくりサポート事業

市町村・スポーツ団体が実施する健康づくり教室や研修会等を支援し、地域における健康の維持増進やスポーツ普及・振興に寄与する。

(1) 事業内容

出張サポート事業

- スタッフサービス
 - ・健康・体力測定等のサポートを目的としたセンター職員の派遣
- ツールサービス
 - ・センターが保有する用具・測定機器等の貸出

相談サポート事業

- 健康、スポーツイベント等に係る相談対応
 - ・イベントプログラム作成等に関するアドバイス
 - ・研修・講演会等の実施に係る講師の紹介
 - ・スポーツ指導者の紹介

事業名	内容	経費等
出張サポート事業	スタッフサービス	・旅費については、当該市町村等が負担
	ツールサービス	・貸出は無料、使用に係る必要経費(消耗品、運搬等)は当該市町村等が負担
相談サポート事業	相談サポート	・講師との調整は当該市町村等が行う ・講師に係る謝金・旅費等は当該市町村等が負担

(2) 貸出用具等一覧

用具		個数等	
アジャタ	2セット(グレー99、黄色99)		
	アンカーボール各1個		
インディアカ	9個		
カローリング	1セット		
グランドゴルフ	2セット		
ゲートボール	2セット(ゴール8台×2)		
シャッフルボード	2セット		
スカットボール	1セット		
ストラックアウト	1台		
ソフトバレーボール	11球		
ターゲットバードゴルフ	多数		
タスポニー	2セット		
バランスボール	空気入れ(電動)	55cm	65cm
	2	赤17	黄13 青17 水色11

用具		個数等	
チュークボール	1セット		
ドッチビー	14枚 (27cm:10枚、23.5:4枚)		
バウンドテニス	2セット		
フライングディスク	白10・黄10・ゴール9		
フリーテニス	2セット		
ペタンク	4セット		
ユニホック	1セット(ボール23個)		
輪投げセット	3セット		
ボッチャ	2セット		
測定関係機器	握力計4個		
	長座体前屈計2個		
	背筋力計3個		
	75cm	85cm	95cm
	黄12 緑18	赤1	青1
		合計	
		90個	

3 福岡県スポーツ情報ネットワーク「ふくおかスポネット」の運用

福岡県スポーツ情報ネットワーク「ふくおかスポネット」を通じて、多くのスポーツイベントやスポーツ関係団体の活動状況、医・科学情報等を発信し、情報の提供を行う。また、センター施設の利用状況等に関する情報も掲載し、県民の積極的な施設利用を促す。



■スポーツイベント情報

主催者から要請されたスポーツイベント等に関する情報を掲載

■スポーツ施設情報

県立スポーツ科学情報センターの施設予約・利用状況等を掲載

■大会情報

国民体育大会や全国高校総体等、スポーツ大会等に関する情報を掲載

■コミュニケーション広場

クラブ員や対戦相手の募集等、一般の方々が自由にコミュニケーションを図れる場を提供

■福岡県スポーツリーダーバンク

県内在住の有資格指導者に関する情報を掲載

■スポーツ医・科学情報

スポーツ医・科学や栄養、食育等に関する情報を掲載

■総合型地域スポーツクラブ活動状況

県内に創設された総合型地域スポーツクラブの活動内容に関する情報を掲載

ふくおかスポネット

検索

<http://www.sponet.pref.fukuoka.jp/>

4 fsweb(福岡スポーツウェブ)による情報提供事業

(1) システムの機能

- (ア) 中央や他県のスポーツ振興、競技力向上など、あらゆる情報を収集・発信〔マルチ〕
- (イ) 関係者からの情報発信を受け全体に発信〔インタラクティブ〕
- (ウ) 広く県内外のスポーツ関係者に対し情報を発信〔ワイドエリア〕

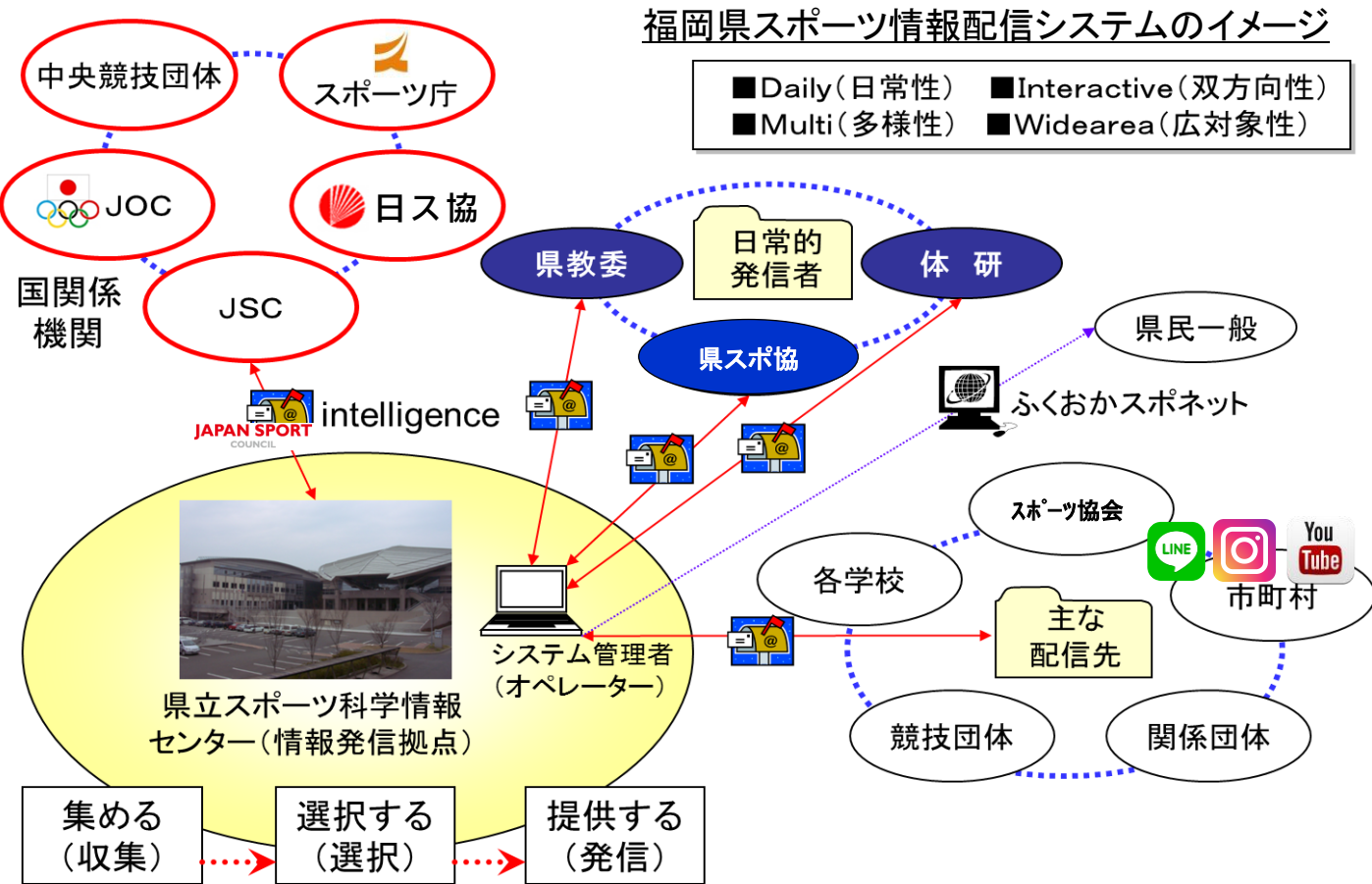
(2) システムの概要

- (ア) 情報の収集
 - 国民体育大会や全国高等学校総合体育大会等のスポーツイベントを中心とした情報を収集
 - ・関係団体からの情報提供
 - ・現地視察員等からの情報提供
 - ・マスメディアが発信する情報（インターネットによる地方紙検索など）
 - ・その他スポーツ関係機関の情報 など
- (イ) 情報の提供
 - 登録された対象者に対して情報を発信
 - 県教育委員会、県スポーツ協会、県体育研究所、及び県立スポーツ科学情報センターより、情報の種類、内容に応じて各登録配信先にメールで情報を提供

(3) 福岡県スポーツ情報の内容

- (ア) 中央から最新情報（スポーツ庁・日本スポーツ振興センター・日本オリンピック委員会等）
- (イ) 他県におけるスポーツ情報
- (ウ) 県内の競技団体情報
- (エ) 本県におけるスポーツ振興に係る最新情報
- (オ) 運動部活動の状況等、学校体育・スポーツ情報
- (カ) 子どもの体力・運動能力に関する情報
- (キ) タレント発掘に関する情報（国内外の動き・福岡県タレント発掘事業の進捗情報・人材情報）
- (ク) 総合型地域スポーツクラブ情報 など

福岡県スポーツ情報配信システムのイメージ



5 スポーツ医事 ・ 健康体力相談事業

競技力の向上を目指す競技者や健康体力づくりを行う個人・団体を対象に、各種測定評価を行い、情報を提供するとともに、個人の目的に応じた運動及びトレーニングの指導助言を行う。

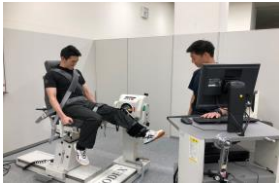
(1) 健康体力測定室機能による測定

センター内に設置された測定室の各種測定機器を使用し、現状の体力・運動能力に関する情報を収集・分析し情報の提供を行う。

相談事業名		内容	主な対象者
総合運動能力向上相談		一般的な体力測定や筋力、全身持久力、神経系等の専門的測定を行い、体力の総合的な分析、評価を行います。	競技者
		形態計測、基礎的体力、無酸素パワー、単関節筋力測定、全身持久力テスト（推定最大酸素摂取量）等	
分野別相談	筋力向上相談	下肢、上肢、体幹の筋力及び筋持久力等の測定、評価に基づき、種目特性に応じた筋力トレーニング指導・動作分析等を行います。	競技者
	全身持久力向上相談	呼吸代謝測定、乳酸測定等による全身持久力の分析、評価に基づき、トレーニング指導を行います。	
	スポーツ心理相談	カウンセリング及びメンタルトレーニング指導を行い、ピークパフォーマンスをサポートします。	
健康体力づくり相談	健康づくりコース	全身持久力・骨強度等の測定を行い、測定結果に基づいて特に健康づくりの観点から日常の運動及びトレーニングの指導を行います。	健康体力づくりを目指す者
	体力づくりコース	全身持久力・一般的な体力測定等を行い、測定結果に基づいて特に体力づくりの観点から日常の運動及びトレーニングの指導を行います。	



無酸素パワー測定



膝関節筋力測定

(2) 映像を用いた分析及び情報提供事例



■タギングによるゲーム分析

自チーム又は競合する他チームのゲームを撮影し、ゲーム内容を分析することにより、選手のパフォーマンスや攻撃パターン、セットプレー等を分析し、情報の提供を行う。また、必要に応じ、全ゲーム映像の中から、シーン別に分類した映像を抽出し提供したり、得点シーン等の注目すべき映像を抽出して提供する。



■アナライザーによる映像加工

選手の一連の動作を複数方向から撮影し、ひとつの画面上にまとめることで、多角的な視点から動きの確認を行うことができる。また、スロー映像に編集も可能なので、成功時と失敗時の比較や、指導前後や治療前後での動きの比較をより詳細に行うことができる。

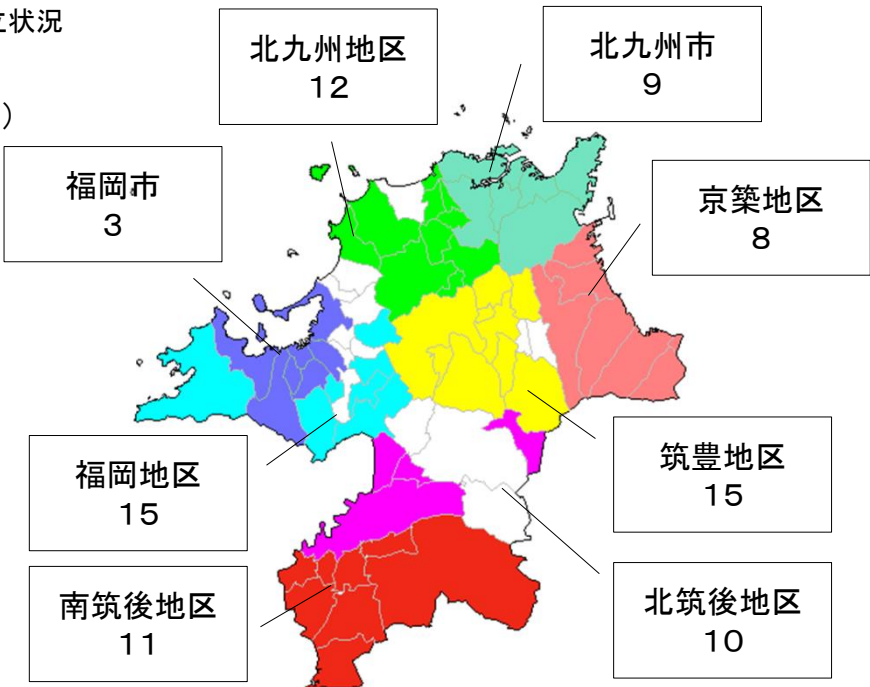
6 総合型地域スポーツクラブへの支援

本センターは、広域市町村圏内の総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動とともに、圏内におけるスポーツ活動全般について、効率的な支援を行う広域スポーツセンターとしての役割を担っていることから、各総合型地域スポーツクラブ及び各クラブで組織された県・地区連絡協議会の活性化等に向けた支援を行う。

(1) 総合型地域スポーツクラブの設立状況

福岡県状況(令和4年3月現在)

- 総クラブ数
83クラブ
- 設置市町村
47(78%)
- 未設置市町村
13



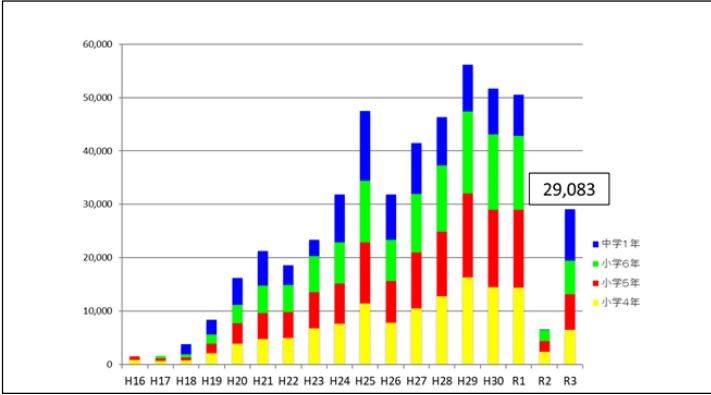
(2) 総合型地域スポーツクラブ活性化支援事業

各クラブ及び各地区・県連絡協議会の広報に努めると共に、各クラブの課題解決に取り組む。また、各地域の「新しい公共」を担うクラブを育成するため、各クラブ及び各クラブで組織された県・地区連絡協議会の活性化及び充実を図る。

活性化支援事業	自立化	クラブの安定した経営、主体的な運営を促す事業 ＜課題：マネジメントを担う人材（運営スタッフや主体的参加者）の不足、指導者や財源等の確保＞
		1 クラブ調査（訪問） 各教育事務所のスポーツ担当と連携し、県内各クラブの基本情報や活動状況、マネジャーの配置、活動資金の運用、行政との連携などの各クラブの課題を明らかにする。
		2 クラブ分析・企画 各クラブの諸問題の解決を支援するため、育成部会、県連絡協議会と連携し、各地区連絡協議会及びクラブに有益な事業や人材の育成などに関する情報を提供する。
		3 具現化 各地区連絡協議会や教育事務所と連携を図りながら、クラブの活動の発展・充実につなげる支援を実現し、課題解決につなげる。
	発展化	クラブのネットワーク強化事業 ＜課題：連絡協議会発展に向けた具体的方法（事務局の在り方、自主事業の開発）＞
		4 福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の支援 県連絡協議会の更なる発展に向け、自主的な運営や各地区連絡協議会の組織強化並びに各クラブ間のネットワーク構築を具現化する。 ①事務局体制を充実させるための支援 ②県連絡協議会に求心力を持たせるためのクラブ研修会等、活性化事業の開催 ③学校教育と連携強化及び障がい者スポーツを促進させるために、行政や学校・民間団体と連携を図る ④県連絡協議会に加盟していないクラブへの加盟促進

7 福岡県タレント発掘事業

日本初の取り組みとして平成16年度から実施し、体力・運動能力に優れた小・中学生を見出し、発達に応じた適切な指導により、運動能力を更に開発・育成するとともに、育成された能力が活かせる競技に導き、世界で活躍できるトップアスリートの輩出を目指す。事業は、人材を「見つける」、人材を「育てる」人材を「活かす」ための3つのプログラムにより構成される。



●「見つける」ーセレクトプログラム

子どもたちの「能力を見極める」、「飛躍的に成長できる時期を逃さない」といった観点で、福岡県内の小学校4年生から中学校1年生を対象に選考を行い、18年間で487,765名が1次選考会に参加している。

●「育てる」ー能力開発・育成プログラム

様々なスポーツの実践をととして、将来トップアスリートとなるために必要となる能力の獲得を目指すとともに、トップアスリートとして持つべき知識や考え方等についても学習する。

【身体能力開発・育成プログラム競技種目例】

ウェイトリフティング/タグラグビー/陸上競技
レスリング/フェンシング/ホッケー/サッカー
水球/ハンドボール/ライフル射撃/アーチェリー
スケート等

【知的能力開発・育成プログラム内容例】

ロジカルシンキング/オープンマインド
コミュニケーションスキル/ソーシャルスキル
コンディショニング/栄養学/スポーツ障害
メンタルトレーニング/アンチドーピング等



陸上競技プログラム



ホッケープログラム



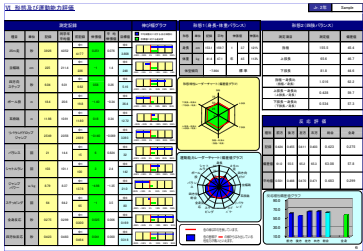
メンタルトレーニングプログラム



アンチドーピングプログラム

●「活かす」ーパスウェイプログラム

競技に関する情報を収集し、開発・育成された個々の能力に応じたより高いステージで活躍できる可能性が高い競技に導くことを目的とし、令和3年度末現在、418名の修了生が様々な競技でトップアスリートを目指している。



運動能力による適性評価



競技団体指導者による適性評価

◇受講生・修了生の競技実績

国際大会出場者	54名(延べ385)
全国大会優勝者	85名(延べ212)

昨年度の主な大会成績

- 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 出場(ハンドボール)
- 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 出場(フェンシング)
- 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 出場(ラグビー)
- 第90回全日本自転車競技選手権大会トラックレース 優勝(自転車)
- 第99回全日本ボート選手権大会 優勝(ボート)
- 2021日本学生陸上競技個人選手権大会 優勝(陸上競技)
- 令和3年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会 優勝(アーチェリー)



JOCジュニアオリンピックカップ
自転車競技大会 優勝
12期生(写真中央)

8 福岡県スポーツ振興センターの施設利用

福岡県スポーツ振興センターでは福岡県から指定管理を受けた県立スポーツ科学情報センター、県立総合プールの利用を促進している。

合宿等の練習会場、宿泊会場としても利用することができる。

(1) 福岡県立スポーツ科学情報センター

(ア) メインアリーナ、サブアリーナ、多目的アリーナ及びクライミングウォール等

施設名	内容	
メインアリーナ	45m×39m 1,794㎡ 観覧席2,000席	ハンドボール2面、卓球15面 バスケットボール2面、バレーボール2面 バドミントン10面、体操 他
サブアリーナ	34m×26m 884㎡	バスケットボール1面、卓球6面 バレーボール2面 バドミントン4面、体操 他
多目的アリーナ	26m×15m 390㎡×2室	柔道4面、剣道4面、空手4面 なぎなた4面、各種体操 他

(イ) 研修室、視聴覚室、会議室及び和室

研修室	第一研修室	35人	*第一、第二研修室は合併使用ができる。
	第二研修室	20人	
	第三研修室	100人	*第三、第四研修室は合併使用ができる。
	第四研修室	100人	
	視聴覚室	100人	
	会議室	15人	
	和室	60人	

(ウ) 宿泊室

宿泊室	洋室	97人
	和室	32人

施設名	使用単位	区分	料金	宿泊税
宿泊室(洋室)	一泊	一般	3,190円	200円 (別途)
		児童生徒	1,590円	
宿泊室(和室)	一泊	一般	1,380円	
		児童生徒	690円	



(2) 福岡県立総合プール

区分	内容		
プール	・50mプール	50m×8コース	水深2.0m～2.2m
	・25mプール	25m×8コース	水深1.0m～1.4m
	・飛込プール	20m×22m	
スケート	スケートリンク60m×30m		
会議室	会議室 50名		

アクション福岡



情報を配信します！
QRコードを読み取って
フォローをお願いします。



イベント情報スポーツ振興に関する動画配信



ACCIONFUKUOKA



Instagram



ホームページ



ふくおか
スポネット



施設利用・スクール情報

LINE

<http://www.sponet.pref.fukuoka.jp/>
公益財団法人福岡県スポーツ振興センター

(公財)福岡県スポーツ振興センター
(福岡県立スポーツ科学情報センター)
(福岡県立総合プール)
(福岡県立総合射撃場)

〒812-0852

福岡市博多区東平尾公園2丁目1-4

TEL 092-611-1717

FAX 092-611-1600

mail accion@f-sponet.or.jp